

学校だより 朝日丘

令和6年11月19日

氷見市立朝日丘小学校

氷見市朝日丘3番1号 TEL:74-8422 FAX:74-8423

「スペシウム光線」は難しい

先日は、学習参観及び教育講演会にご参加くださりありがとうございました。学習参観の前に、ホームページの「今日のメッセージ」に次のように書きました。

今回の学習参観は、「教師の話は短く」「子供がたくさん話す」「子供がたくさん活動する」ということを目指します。これらのことは、実はすごく難しいことで、教師が努力しないとできないことなのです。説明して教えることは誰でもできますが、説明しないで、子供が発表しながら理解を深めていく授業は、小学校教員にしかできないことではないでしょうか。例えるなら、小学校教員の必殺技で、「ウルトラマンのスペシウム光線」レベルのことだと思います。

俳句は、自分の伝えたいことを十七音で表現しなければなりません。無駄な言葉を極限まで省かなければならないのです。教師の話を短くすることも、様々なテクニックが要求されます。子供が話せるように鍛えることも、簡単なことではありません。しかし、すべての教師が、そのような難しいことに挑み続けているのです。

学習参観では、「子供がたくさん話す」「子供がたくさん活動する」姿をご覧いただくことができたでしょうか。お子さんには、たくさんのほめ言葉をかけてあげてほしいと思います。



宮田隼さんのお話から思ったこと

教育講演会での「コミュニティハウスひとのま」代表である宮田隼さんのお話はいかがでしたか。宮田さんほど人を思い、人を信じ、そして行動できる人を知りません。しかも、ボランティアで。本当にありえないレベルの方だと思います。講演の後、「ひとのまに行ってきたい」と話される保護者の方もおられました。



宮田さんのモットーは、「人の幸せのために人の幸せを願うんじゃねえ！自分の幸せのために人の幸せを願うんだ！」だそうです。確かに「誰かのため」にやることは、結局「自分のため」になるのです。自分を大切にすることが人を大切にするにつながるのかもしれない。

素晴らしいお話をしてくださった宮田さんに改めて感謝申し上げます。

ホームページに掲載した写真より

